

第19回 日本免震構造協会賞 - 2018 -

第19回日本免震構造協会賞は、右の9件に決定した。

表彰制度の目的

免震構造等の技術の進歩及び適正な普及発展に貢献した個人、法人及び団体に対して表彰することにより、免震構造等の技術の確実な発展と安全で良質な建築物等の整備に貢献していくことが本協会の表彰制度の目的である。

表彰の対象

功労賞は、多年にわたり免震構造等の適正な普及発展に功績が顕著な個人に、技術賞は、免震建築物等の設計・施工及びこれらに係る装置等に関する技術として優れた成果を上げた個人、法人及び団体に、作品賞は、免震構造等の特質を反映した格別に優れた建築物等の実現に主たる貢献を行った個人、法人及び団体に、業績賞は、免震構造等の特質を反映した、建築物等の優れた設計、改修、保全、維持、復元、困難なプロジェクトの実現等において際立った業績をあげた個人、法人及び団体に、普及賞は、免震建築物・免震啓発活動・免震に係わる装置等により免震構造等の普及に貢献した個人、法人及び団体に贈る。

表 彰

2018年6月7日

一般社団法人日本免震構造協会通常総会後

一般社団法人日本免震構造協会表彰委員会委員

森高英夫(委員長) 井田卓造 江副敏史
下吹越武人 竹内 徹 畠中克弘 東野雅彦
三田 彰

審査経過

本年度の応募は技術賞2件、作品賞14件、業績賞2件および普及賞2件であったが、第1回表彰委員会で議論した結果、作品賞応募のうちの1件を技術賞および2件を業績賞に相応しいと判断し、各応募者にエントリー変更の打診を行い了承された。その結果、技術賞3件、作品賞11件、業績賞4件および普及賞2件の応募について審査を行った。

技術賞応募の3件については書類審査とヒアリングを実施し、その内容について委員会で議論した結果、2件を技術賞として選出したが、最終的に1件に絞られた。選考された1件は、「エネルギー回生」という独創的な概念により従来のオイルダンパに比べてエネルギー吸収効率を約2倍にしたセミアクティブオイルダンパの開発・実用化で、高効率な制振技術として高く評価された。作品賞の応募は、用途別に業務5件、文化2件、住宅2件、教育1件および宗教1件と様々であり、この中で中間階免震構造を採用した作品が5件、制振構造を採用した作品が1件あった。何れも構造計画に創意工夫がみられ、また意匠デザインおよび環境配慮等に優れた作品であった。書類審査および現地審査に基づき、第2回表彰委員会で厳正に審査した結果、関係者を除く委員の評価得票率で75%超を獲得した応募作品2件を選出した。特に、木造+RC造の混合構造と中間階免震構造を組合せた応募作品は、

選 考 結 果

第19回日本免震構造協会賞受賞は下記の9件である。

I 技術賞

- | | |
|-----------------------------------|-----------|
| 1) エネルギー回生を導入した高効率制震オイルダンパの開発と実用化 | 栗野治彦 福田隆介 |
| 鹿島建設株式会社 | 田上 淳 |
| センクシア株式会社 | 銭 志偉 |

II 作品賞

- | | | |
|--------------------------|------------|--|
| 1) 小学館ビル | 坂本憲治 | |
| 小学館不動産株式会社 | 向野聡彦 郡 幸雄 | |
| 株式会社日建設計 | 早田友彦 | |
| 鹿島建設株式会社 | 増田孝弘 | |
| 2) 高知県自治会館 | 池田洋光 | |
| 高知県市町村総合事務組合 | 細木 茂 | |
| 株式会社細木建築研究所 | 佐藤孝浩 | |
| 桜設計集団一級建築士事務所 | 田尾玄秀 | |
| 縦建築事務所 | 戸高恭明 | |
| 株式会社竹中工務店 | | |
| 3) 近畿大学 ACADEMIC THEATER | | |
| 学校法人近畿大学 | 萩原理実 吉川正規 | |
| 株式会社NTT ファシリティーズ | 宮崎政信 長島英介 | |
| | 岸本直也 | |
| 4) 水天宮御造替 一境内まるごと免震 | | |
| 宗教法人水天宮 | 有馬頼央 | |
| 株式会社竹中工務店 | 麻生直木 中根一臣 | |
| | 飯田智裕 水野吉樹 | |
| 5) 蒲郡信用金庫本店 | | |
| 株式会社久米設計 | 横田 順 鍋流馬久明 | |
| | 熊王皓一 湯澤優登 | |

III 業績賞

- | | | |
|--------------------|------------|--|
| 1) 東京ガーデンテラス紀尾井町 | | |
| 株式会社日建設計 | 小板橋裕一 木村征也 | |
| | 安藤顕祐 長嶋千草 | |
| 2) 山梨文化会館免震レトロフィット | | |
| 株式会社山梨文化会館 | | |
| 株式会社丹下都市建築設計 | | |
| 株式会社織本構造設計 | | |
| 株式会社建築設備設計研究所 | | |
| 三井住友建設株式会社 | | |

IV 普及賞

- | | | |
|---|-----------|--|
| 1) トンネル工法と免震性能最大化設計による地上無補強完全使いながら免震レトロフィット技術の開発と実現 | | |
| 株式会社日建設計 | 長瀬 悟 | |
| 元株式会社日建設計 | 山脇克彦 | |
| 株式会社北海道日建設計 | 小谷卓司 | |
| 清水建設株式会社 | 安富彩子 齊藤 穰 | |
| | (敬称略) | |

都市型木造建築として高く評価された。その後、再審査において様々な観点から議論した結果、評価得票率60%超の応募作品3件を選出した。業績賞の応募は、免震レトロフィット案件および難易度の高いプロジェクト案件がそれぞれ2件ずつあった。作品賞と同様に書類審査および現地審査を行い、厳正に審査した結果、審査委員過半の評価を得た2件を選出した。特に、独創的な構造形式の建物を免震技術により改修した応募作品は高く評価された。普及賞は、トンネル工法という新コンセプトにより基礎免震レトロフィットを実現した技術が今後の普及展開に貢献するものとして選出された。(森高英夫)